



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月6日

上場会社名 ミトラグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6093 URL <https://www.mitra.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成宮 正一郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理本部担当 (氏名) 太田 昌景 TEL 03-6703-0500
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	1,245	8.1	93	195.5	95	175.2	68	—
2026年2月期第1四半期	1,152	△1.8	31	△84.0	34	△83.3	△11	—

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 68百万円(—%) 2026年2月期第1四半期 △13百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	1.57	1.56
2026年2月期第1四半期	△0.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年2月期第1四半期	4,436	3,311	74.1	75.47
2026年2月期	4,741	3,498	73.4	79.89

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 3,286百万円 2026年2月期 3,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,872	21.3	130	△17.8	128	△18.9	87	△31.0	2.00
通期	6,211	22.3	624	93.1	619	95.5	425	124.4	9.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年2月期1Q	45,950,238株	2026年2月期	45,950,238株
2027年2月期1Q	2,399,040株	2026年2月期	2,399,040株
2027年2月期1Q	43,551,198株	2026年2月期1Q	43,604,691株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

当社は、2026年3月1日付で株式会社エスクロー・エージェント・ジャパンからミトラグループ株式会社へ商号変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年3月1日～2026年5月31日)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いており、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が景気回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響や、金融資本市場の変動に注意する必要があります。不動産市場については、地価の高止まりに加え、建設コストの値上がりは依然として続いております。また、住宅ローン金利上昇による住宅取得費用の値上がりも懸念されることから、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような事業環境の中、当第1四半期連結累計期間においては、金融ソリューション事業における信託サービス及び不動産ソリューション事業における不動産オークション取引が順調に推移したほか、士業ソリューション事業におけるサムポローニアシリーズが堅調に推移いたしました。一方、建築ソリューション事業においては、建築事業者からの敷地調査業務の受託件数及び設計サポートサービスが前年同期を下回りました。また、前連結会計年度末に計上した一部の取引先に対する貸倒引当金について、相手先の経営状況及び財務状況を踏まえ回収可能性を見直した結果、貸倒引当金繰入額75,758千円の戻入を販売費及び一般管理費に計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は1,245,479千円(前年同期比8.1%増)、営業利益は93,463千円(前年同期比195.5%増)、経常利益は95,156千円(前年同期比175.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は68,434千円(前年同期は11,493千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業においては、主に金融機関に対し、住宅ローンに係る事務及び相続手続きの利便性、安全性及び業務の効率化に寄与する各種サービスを提供しております。取引関係者に対し不動産取引に係る受発注管理、進捗管理及び品質管理等に資するクラウドシステム「EPS(Escrow Platform System)」を通じてサービスを提供しております。また、連結子会社のミトラ信託株式会社における信託サービス、相続手続き代行サービスでは決済の安全性確保、財産保全等のニーズに対応しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主に信託サービスにおいて、契約件数の増加等により信託報酬が増加し、増収となりました。

以上の結果、セグメント売上高は466,523千円(前年同期比7.3%増)、セグメント利益は241,927千円(前年同期比31.8%増)となりました。

(不動産ソリューション事業)

不動産ソリューション事業においては、主に不動産事業者に対し、不動産取引の非対面決済サービス「H'OURS」を提供する等取引の利便性、安全性及び業務の効率化のための各種サービスを提供しております。また、連結子会社のミトラ信託株式会社では、主に税理士等の士業からの相談に応じ、不動産の調査から取引決済まで安全性の高い不動産オークション取引の機会の場を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、「H'OURS(アワーズ)」の利用件数は前年同期を下回った一方、不動産オークション取引では、案件数の増加に伴い、成約件数は前年同期を上回りました。

以上の結果、セグメント売上高は194,251千円(前年同期比33.9%増)、セグメント損失は24,002千円(前年同期は53,938千円のセグメント損失)となりました。

(建築ソリューション事業)

建築ソリューション事業においては、主に建築事業者に対し、現場管理及び建築確認・申請業務等の利便性、安全性及び業務の効率化に寄与する各種サービスを提供しております。連結子会社の株式会社中央グループでは、建築事業者に対し建築の申請から各種申請用図面の作成、検査・アフターフォローまでワンストップでトータルサポートを行う住宅建築支援ツール「ARCHITECT RAIL(アーキテクト・レール)」の提供を行うとともに、測量、建築設計等の専門サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、建築事業者からの敷地調査業務の受託件数及び設計サポートサービスが前年同期を下回り、低調に推移いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は315,849千円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益は14,260千円(前年同期比70.7%減)となりました。

(土業ソリューション事業)

土業ソリューション事業においては、主に不動産取引に関わる土業に対し、業務の利便性、安全性及び業務の効率化のための各種サービスを提供しております。連結子会社の株式会社サムポローニアでは、主に登記申請に関連する分野において、オンライン申請機能や情報管理機能など多様な機能を有する「サムポローニアシリーズ」を通じて、土業へサービスを提供しております。また、マイナンバーカードを利用した本人確認及び電子署名を可能とする「サムポロトラス」を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力商品であるサムポローニアシリーズが堅調に推移いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は267,001千円(前年同期比7.5%増)、セグメント利益は37,321千円(前年同期比43.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,159,792千円となり、前連結会計年度末と比較して250,670千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が204,632千円減少したことによるものであります。固定資産は1,276,586千円となり、前連結会計年度末と比較して54,540千円の減少となりました。

以上の結果、総資産は4,436,378千円となり、前連結会計年度末と比較して305,211千円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は950,789千円となり、前連結会計年度末と比較して116,376千円の減少となりました。これは主に、買掛金が57,221千円減少したことによるものであります。固定負債は173,917千円となり、前連結会計年度末と比較して2,475千円の減少となりました。

以上の結果、負債合計は1,124,707千円となり、前連結会計年度末と比較して118,851千円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,311,671千円となり、前連結会計年度末と比較して186,360千円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が68,434千円であった一方、剰余金の配当が261,307千円あったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は74.1%(前連結会計年度末は73.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年4月3日の「2026年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,642,156	2,437,524
売掛金	638,942	544,875
その他	230,357	202,794
貸倒引当金	△100,993	△25,401
流動資産合計	3,410,463	3,159,792
固定資産		
有形固定資産	263,468	249,814
無形固定資産	522,330	485,900
投資その他の資産	545,328	540,871
固定資産合計	1,331,127	1,276,586
資産合計	4,741,590	4,436,378
負債の部		
流動負債		
買掛金	154,968	97,747
リース債務	49,333	39,484
未払法人税等	67,044	26,235
賞与引当金	112,335	62,861
その他	683,484	724,461
流動負債合計	1,067,166	950,789
固定負債		
リース債務	105,479	103,069
資産除去債務	59,573	59,573
その他	11,340	11,275
固定負債合計	176,392	173,917
負債合計	1,243,559	1,124,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	676,677	676,677
資本剰余金	791,517	791,517
利益剰余金	2,559,482	2,366,610
自己株式	△548,271	△548,271
株主資本合計	3,479,406	3,286,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	909	877
為替換算調整勘定	△855	△412
その他の包括利益累計額合計	54	464
新株予約権	18,570	24,673
純資産合計	3,498,031	3,311,671
負債純資産合計	4,741,590	4,436,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	1,152,426	1,245,479
売上原価	717,866	735,775
売上総利益	434,560	509,703
販売費及び一般管理費	402,935	416,239
営業利益	31,624	93,463
営業外収益		
受取利息	43	1,001
受取賃貸料	10,029	7,085
雑収入	2,312	—
その他	117	1,497
営業外収益合計	12,502	9,583
営業外費用		
支払利息	1,031	1,131
賃貸費用	8,459	6,425
その他	63	334
営業外費用合計	9,554	7,891
経常利益	34,572	95,156
税金等調整前四半期純利益	34,572	95,156
法人税、住民税及び事業税	17,602	23,272
過年度法人税等	△8,899	—
法人税等調整額	37,362	3,448
法人税等合計	46,066	26,721
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,493	68,434
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,493	68,434

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,493	68,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△32
為替換算調整勘定	△1,761	442
その他の包括利益合計	△1,773	409
四半期包括利益	△13,266	68,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,266	68,844
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額(注) 1・2・3	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 4
	金融ソリ ューション	不動産ソリ ューション	建築ソリ ューション	士業ソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	434,589	145,101	322,400	248,484	1,150,575	1,850	1,152,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	—	—	27,551	27,573	△27,573	—
計	434,611	145,101	322,400	276,035	1,178,148	△25,722	1,152,426
セグメント利益又は損失 (△)	183,500	△53,938	48,716	26,033	204,313	△172,688	31,624

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額1,850千円は事業セグメントに帰属しない本社の収益であります。
 2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△27,573千円はセグメント間取引の消去であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△172,688千円は、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門等で生じた販売費及び一般管理費であります。
 4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注) 1・2・3	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 4
	金融ソリュ ーション	不動産ソリ ューション	建築ソリュ ーション	士業ソリュ ーション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	466,523	194,251	315,849	267,001	1,243,625	1,854	1,245,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	—	35,791	35,797	△35,797	—
計	466,529	194,251	315,849	302,792	1,279,422	△33,943	1,245,479
セグメント利益又は損失 (△)	241,927	△24,002	14,260	37,321	269,508	△176,044	93,463

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額1,854千円は事業セグメントに帰属しない本社の収益であります。
 2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△35,797千円はセグメント間取引の消去であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△176,044千円は、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門等で生じた販売費及び一般管理費であります。
 4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	60,312千円	69,428千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。